

第 104 号

育成会

会報

令和元年度版

発行所

一般社団法人

広島県手をつなぐ育成会

広島市西区打越町17-27

育成会総合福祉センター内

TEL (082) 537-1773

FAX (082) 537-1778

編集責任 金子麻由美

会長就任のご挨拶

広島県手をつなぐ育成会 会長

金子 麻由美



皆さま、日頃より手をつなぐ育成会の活動にご理解とご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成から令和へ新たに出發した年に、育成会活性化に向けて執行理事の70歳定年制が議決され、私が会長を拝命いたしました。副島前会長は地元因島で幼児から高齢者までの福祉で先駆的な取り組みをされました。また、全日本手をつなぐ育成会の理事長を長年務められ、その後は広島県のリーダーとして育成会活動をけん引してこられました。その後任はとて重責で身の縮む思いですが、新たな体制で前を向いて進んでいくしかありません。でも、私は副島前会長のように一人で大き

な「シャチ」にはなれません。「スイミー」のように皆様のお力を結集して一つの大きな魚となり、及ばずながらその目になるべく努力をしたいと思っております。どうぞご協力よろしくお願いたします。

活性化の取り組みの一つとして、支部分のない地域や施設を回り、支部立上げの努力をしています。この度、可部に施設支部が立ち上がり、庄原では地域育成会立上げに向けて動き始めました。これからも、互助制度も含めて、各地の活動が活性化するように足を運んで参りたいと思います。全国手をつなぐ育成会連合会の取り組みをお伝えします。

1. 旧優性保護法を巡る問題について

全育連で検証委員会を設置して過去を検証した結果、同法に基づく不妊手術を選択肢として紹介した経緯がありました。こうした過去を育成会は率直に反省し、今後障害者の権利擁護に向けて取り組む決

意をしました。国より賠償保障額が提示され、今後、県育成会も窓口になります。辛い過去を思い出したくない方もおられると思いますが、ぜひご相談いただけたらと思います。

2. 大規模災害への備え

近年の大規模災害に備え、2017年度から災害支援基金を創設しました。昨年は西日本豪雨や台風、北海道東部地震災害があり、募金活動も行いました。広島県でも被災された方に全国からの義援金の一部、三百二十万円を見舞金としてお渡しすることができました。災害がないに越したことはありませんが、育成会の仲間として今後も助け合いの精神で進めていきたいと思えます。

3. 地域育成会の活性化に向けて

(1) 地域資源開発の取組み

皆様の地域は、障害のある人や家族が安心して暮らせるための整備がどれくらいされているでしょうか？主に福祉サービスの状況をチェックし、到達していない資源をどのように作り上げていくのかを考える「地域開発協働推進ハンドブック」を又村あおい氏が中心となり全育連で開発しました。これを活用するための解説書も今後用意される予定です。その折には皆様にお知らせしますので、育成会だけでなく行政や支援事業所と一緒に話し合い、資源開発を進めていただきたいと思います。

障害のある人が地域で安心して暮らすためには、障害者理解が必要で、そのために、まずは障害の疑似体験をして障害特性を知ってもらうことが有効です。広島県では7年前から啓発キャラバン隊「ひろしまあび隊」が活動しています。小中学校や広島大学教員養成課程の学生・企業・病院・地域等へ、これまでで約二万六千名の方に体験していただきました。この活動は全国的にも広がり、ここ数年で六十組以上の啓発隊が発足しています。今年度、全育連の権利擁護委員会の中に「啓発キャラバン隊推進委員会」が発足し、私が代表に就任いたしました。今後益々、啓発活動の活性化に取り組みたいと思いますので、みなさんの地域でも、ぜひ「啓発キャラバン隊」を結成し、啓発活動を行ってください。一人でもできるプログラムもありますので、まずは体験してください。「ひろしまあび隊」はどこにでも出動いたします。

その他にも、成年後見の報酬見直しや若い保護者向けの冊子「知的・発達障害のある子どもを育てるQ&A」の活用など、お伝えしたい内容があります。ホームページを事務局が更新していますので、時々覗いていただけると幸いです。

「知的障害理解と権利擁護」は、育成会の1丁目1番地です。これからも皆様とともに、育成会運動を進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

広島県手をつなぐ育成会 会長退任のあいさつ

広島県手をつなぐ育成会 顧問 副島 宏 克



本日は、広島県手をつなぐ育成会 会長を退任するに当たり、これまで、手をつなぐ育成会に注いだ副島の気持ちをお話ししたいと思います。

国の制度が整い、地域に福祉施設が多数展開されてきたにもかかわらず障害のある人の地域での暮らしは将来に不安や悩みを抱えています。それは、社会状況の変化で、障害のある人への福祉の考え方が大きく変わってきたと言っても過言ではないでしょう。

振り返りますと、今から25年前、1994年(平成6年)、「第20回広島県知的障害者福祉大会(因島大会)」で行った育成会の大改革を思い出すことができます。

それまでは、福祉に対する国の制度も地域における福祉施設の建設も十分ではなく、地域では小規模作業所の立ち上げが盛んに行われていた時でした。

この時代に行った「第20回広島県知的障害者福祉大会」で仕込んだ内容を「大会の基調提案」より紹介します。「共に生きる地域づくりをめざして、地域の理解者をふやそう」という大会テーマに「託した思い」が二つあります。大

会のあり方を見なおすことでした。具体的には、

1. 大会名称の変更です。大会名称を、精神薄弱者福祉大会から知的障害者福祉大会へ変更しました。
2. 参加費の徴収です。参加費は、無料でしたが、この大会で500円徴収しました。この参加費徴収で、親たちが行っている大会であるという自覚ができました。
3. 本人が主体となる企画の取り入れです。この大会から本人部会をスタートさせました。

この三点を、その大会から、即実行しました。

託した思いの「二つ目」は、親の意識改革が必要だということでした。具体的には、

1. 福祉の流れが、施設福祉から在宅福祉・地域福祉へ大変化をしていることを知る
2. 福祉の取り組みを、親及び第三者主体から本人主体を尊重する取り組みへ変えること。
3. 親離れ・子離れの大切さを知り、具体的に取り組むこと。

この3つの取り組みは、因島で取り組んでいきました。

この25年間は、国の制度も地域の福祉施設建設も、育成会運動も功を奏し、障害者福祉事業を進める人にとってすさまじいスピードで取り組みが進みました。

しかし、25年後(2019年)の現在は、社会状況も人間社会の価値観の考え方も経済状況も大きく変わってしまいました。さらに、これまで運動で障害者福祉の充実を取り組んできた「手をつなぐ育成会」も、活動が低迷しています。その原因は、若い層の親が入会しなくなつたことです。まさに、世代交代が必要になつてい

るので、若い親たちの新しい考え方を取り入れ、今の社会状況に乗り遅れないことが大切です。最後に伝えたいことは、育成会の活動で夢を描いて欲しいことです。育成会の活動は活性化して継続して取り組んでいかなければなりません。具体的には、一人ひとりが抱えている問題を、一人ではなく仲間といっしょに取り組んで解決していくこと。そしてそれが、「自分の問題だけ解決すればよい」で終わらないこと。これが、育

成会が存在する意味であります。さらに、毎年、同じことを繰り返していったのでは、その組織の進歩にはつながりません。少しでも新しいことを取り入れ実行することです。このことが、組織の活性化につながります。広島県手をつなぐ育成会の若返りと活性化をどう考え、取り組んで行くのか。それを、皆様方に考えていただき、夢のある育成会を再構築していただきたいと思ひます。

以上、副島の気持ちを述べさせていただきます。これまで会長職を8年間務めさせていただきましたが、私も高齢になり体力の限界を感じ今期をもって退任させていただきます。これからの広島県手をつなぐ育成会のみならずのご発展と広島県下の福祉の向上を願いつつ、皆様方のご健康を祈念してお別れしたいと思います。ありがとうございます。

以上、副島の気持ちを述べさせていただきます。これまで会長職を8年間務めさせていただきましたが、私も高齢になり体力の限界を感じ今期をもって退任させていただきます。これからの広島県手をつなぐ育成会のみならずのご発展と広島県下の福祉の向上を願いつつ、皆様方のご健康を祈念してお別れしたいと思います。ありがとうございます。

全国大会、中国・四国大会へ参加しましょう!

◆第8回手をつなぐ育成会中国・四国大会◆
第8回手をつなぐ育成会(すまいる大会) 岡山大会
開催 第40回手をつなぐ育成会岡山県大会

開催要綱は各支部へは電子データ、又は郵送にてお届けしています。また、広島県育成会のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

令和元年度～2年度 新役員紹介

今期の理事に就任された皆さまをご紹介します。

- 会 長 金子麻由美 (広島市手をつなぐ育成会)
- 副会 長 村主 武彦 (東広島市手をつなぐ育成会)
- 善川 夏美 (広島市手をつなぐ育成会)
- 理 事 西山堅太郎 (NPO法人福山手をつなぐ育成会)
- 安森 博幸 (広島市手をつなぐ育成会)
- 小池 行博 (松陽寮保護者会)
- 井本 健一 (呉市手をつなぐ育成会)
- 新元 史子 (みよし親の会「夢」)
- 佐藤 隆 (野呂山学園利用者家族会)
- 田中 孝治 (はつらつ友の会)
- 彌政 慎一 (広島県知的障害者福祉協会)
- 玉田 博満 (大崎上島障害児者「わかばの会」)
- 岡田 雄幸 (みどりの町)
- 尾池菜緒美 (大竹市中心障害児・者手をつなぐ育成会)
- 柏田 潤子 (広島市手をつなぐ育成会)
- 関 和典 (広島県特別支援教育研究連盟)
- 海段 大作 (呉本庄作業所)
- 春木 強 (八木園)
- 岩本 吉郎 (太田川学園保護者会)
- 常務理事 水戸 静眞
- 監 査 川上 清一 (松陽寮保護者会)
- 新谷 庄 (おのおの手をつなぐ育成会)
- 顧問 副島 宏克 (因島「若葉」)

※継承略 順不同

令和元年度5月、定時総会を行いました。



5月26日(日)、定時総会を行いました。全ての議事は滞りなく承認されました。

議事の一つであった、執行理事(会長、副会長、常務理事)の70歳定年制も議決されました。

広島県手をつなぐ育成会の活性化に向けて、新たな気持ちで活動をしてまいります。

皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

理事交代

「ありがとうございました」

新理事決定後、交代をされた旧理事の皆様には花束を贈呈し感謝の気持ちをお伝えしました。長年にわたり理事を務めていただき本当にありがとうございました。

今後とも、地域・施設の育成会を支えていただきますよう、よろしくお願いいたします。



右側から

唐津前理事

河田前副会長

三上前副会長

副島前会長

令和元年度 主に関係する年間行事（大会、研修、スポーツ等）

詳細は県育成会のホームページをご覧ください

令和元年 4月	27日	中部地区親善球技大会	令和元年11月	17日	第45回広島県福祉大会・第18回はつらつ大会（呉市）
	29日	県水泳大会		19日～24日	あいサポートアート展（ふくやま美術館）
5月	18日	西部地区親善球技大会	12月	23日～24日	第6回育成会全国大会（熊本県）
	19日	県陸上競技大会		1日	あいサポートふれあいコンサート
	26日	東部地区親善球技大会		7日	ボウリンピックinひがしひろしま
7月	23日	県フライングディスク大会	令和2年 1月	18日	第8回きらっと光る人生を考える研究大会
8月	18日	フライングディスク大会in三次		25日	事業所協議会全国研修大会（静岡）
9月	15日	東部地区親善球技大会 親善スポーツ大会		26日	本人相談会&交流会（広島市）
	22日	フライングディスク大会in安芸たかた	2月	18日	（全育連）権利擁護セミナー（鹿児島）
	30日	（全育連）権利擁護セミナー（青森県八戸市）		23日	県卓球大会
10月	12日～14日	第19回全国障害者スポーツ大会（茨城県）	3月	未定	県育成会理事会・総会
	19日～20日	第7回育成会中国・四国大会・すまいる大会（岡山市）			
	29日～11月3日	あいサポートアート展（広島県立美術館）			

※広島県知的障害者相談員研修会（日程未定）

【お知らせ】 第8回きらっと光る人生を考える研究大会は開催日が変更になりました。
12月14日（土）→1月18日（土）

地域育成会活性化のための研修等事業費助成金を活用してください！

この事業は全国手をつなぐ育成会連合会が、地域育成会の活性化を目的に各育成会で行う各種研修・イベントへの事業費を助成するものです。

平成28年度から始まり、広島県内では以下のような研修を開催しています。皆さんの地域を活性化させるため、ぜひご利用ください。詳しくは県育成会事務局までお問合せください。

実施年度	支部	研修テーマ等	講師	事業の成果と育成会活動の展望
H28年度	大竹市	発達支援としての作業療法によるアプローチ	石附 智奈美 広島大学大学院 医歯薬保健学研究院	市行政・市社協の広報協力や教委に小中学校にチラシ配布を依頼し、多くの保護者が参加でき、育成会の説明も行うことで地域とのつながりができた。
	廿日市市	障害のある子どもと生きるために…～自分らしく生きる、子どもの持つ可能性～	吉川 かおり 明星大学 人文学部教授	ラジオなどで幅広く広報を行い、学齢期の保護者の参加が得られ育成会会員の獲得に繋げるきっかけとなった。
H29年度	竹原市	知的・発達障害児の育ちの援助と最近の薬物療法の効果と実際	河野 政樹 広島県立障害者療育支援センターわかば療育園長	会員が高齢化する中で、若い保護者向けの研修会を開催できた。近隣の町からも参加があり、若い保護者が育成会活動に強い興味を示し、新たに会員登録があったことは大きな成果であった。
	尾道市	子ども期から老年期までの豊かな暮らしを支えるために	又村 あおい （「手をつなぐ」編集委員）	制度やサービス内容は改正の都度、研修を行う必要があると痛感した。会員以外の参加も多くあり、地域共生社会の実現に向け、行政や育成会の相互連携を密にした活動を継続したい。
H30年度	呉市	元気になる研修会 「相談支援と地域生活支援拠点事業の充実」	福岡 寿 （長野県自立支援協議会 会長・日本相談支援 専門員協会顧問）	参加者は多岐にわたり年齢層も厚く、育成会活動にも理解が得られた。開催準備や運営を通し保護者、家族、行政が和気あいあいと作業し、低迷していた活動の今後に期待がもてた。

アンジュヴィオレ広島に 熱い声援

5月19日 広島広域公園第一球技場にて

一般社団法人生命保険協会広島県協会様より、障害者支援の取組として女子サッカープレナスチャレンジリーグに所属する地元チーム「アンジュヴィオレ広島」の試合観戦のご招待をいただき、68名の会員の方が参加しました。

観戦に併せて、ゲーム前の「ウォーミングアップ見学会」を実施しました。開会セレモニーでは11人のちびっ子が「エスコートキッズ」として参加し、セレモニーを盛り上げてくれました。

試合は「セレッソ大阪堺ガールズ」に2-1で「アンジュヴィオレ広島」が勝利しました。今年度中にサンフレッチェ広島の観戦も企画します！ご期待ください。

【参加者の声】

★スポーツ観戦の機会がなかなかないのでこんな企画があると参加しやすいです。子どもに少しでもたくさん経験させてあげられるのでありがたいです。これからこのような機会を作ってほしいです。ありがとうございます。
★エスコートキッズとして参加させてもらい、大変良い経験となりました。親もアンジュヴィオレの試合は初めてでしたが、サッカー観戦はとも楽しくて、また行きたいなと思いました。次回があれば、またエスコートキッズをしてみたいです。

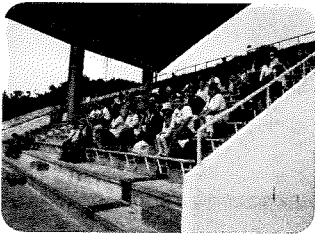
【アンジュヴィオレを見に行ったよ！】

大竹 NAKAMA会 吉本 大佑

僕ははじめて女子サッカーを見に行きました。はじめて女子サッカーを見に行ってきたよ！

さいしよは、先に点をいれられてくやしかったです。僕はがんばれーとおうえんすると、みごとどうてんにおいついて、ぎやくてんしました。ゴール！みんな大もりあがり僕もサイコーですとおもいました。

みんなでもりあがって楽しかったしあいのあとは、せんしゅがおみおくりしてくれたし、3人のせんしゅからサインをしてもらいました。とてもさいこうでした。スポーツかんせんは、みんなでわいわいもりあがってとっても楽しいです。また行きたいです。



互助制度（旧付添看護料共済）

<http://pref-h-ikuseikai.or.jp>

広島県手をつなぐ育成会

検索

この共済は3つの給付制度があります

- ①入院保険 病気やケガで入院したときの補償
- ②傷害保険 本人の傷害（ケガ）の補償
- ③他人への損害賠償金 他人への損害賠償

プランは2つあります Aプラン（12,000円）、Bプラン（18,000円）／年間
補償内容（Bプランの場合 年間掛金 18,000円）

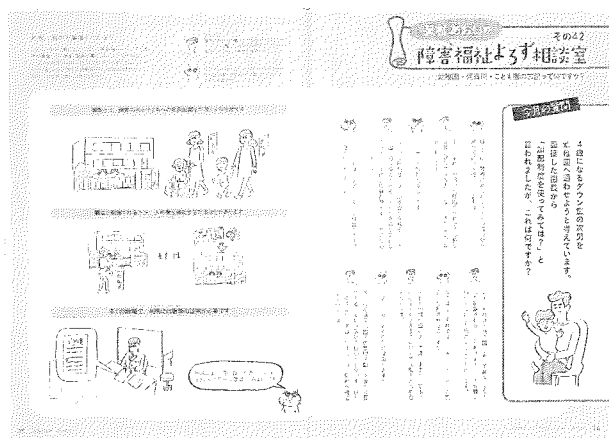
入院保険	・付添看護保険料	1日に付き	5,000～8,000円
	・差額ベッド費用	1日に付き	3,000円までの実費
	・入院諸費用	1日に付き	1,000円
	・入院一時金	1入院につき	5,000円
傷害保険	・ケガによる入院	1日に付き	3,000円（180日限度）
	・ケガによる手術		15,000・30,000円
	・ケガによる通院	1日に付き	1,000円（90日限度）
	・ケガによる後遺障害		8万～200万円
	・ケガによる死亡		200万円
他人への損害賠償金	・対人・対物 1事故		5,000万円 限度（自己負担なし）

詳しい資料のご請求、お問い合わせは下記までどうぞ。
<<共済事務局>> 一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会
電話 082-537-1773 FAX 082-537-1778
<<保険委託引受会社>> AIG保険会社 広島支店
担当 ジェイアイシーウエスト広島株式会社
電話 082-511-7025 FAX 082-511-7026

☎お気軽にお電話
ください。

冊子「手をつなぐ」購読しませんか？

元気の出る情報・交流誌「手をつなぐ」を購読しませんか？
知りたい情報、お得な情報、なるほど！な情報が満載の「手をつなぐ」を毎月お手元へお届けします。
連載記事「又村あおいの障害福祉よろず相談室」や「お金のこと」は毎回とても勉強になりますよ。



購読年会費
3,900円 (税込・送料込)

『手をつなぐ』の購読のお問合せは、
県育成会事務局まで
電話 082-537-1773
FAX 082-537-1778

互助制度事務局より

「付添看護共済制度」は「互助制度」と名称を変更いたしました。
加入の手続きや補償内容、保険金額は一切変わっておりません。加入については年度途中のご加入は毎月25日までに申し込みいただき、翌月の初日から契約開始となります。また、入院給付金は退院翌日から起算して3年を経過したら請求ができなくなりますのでご注意ください。
ご不明な点などがございましたら事務局までお問合せください。

TEL 082-537-1773 FAX 082-537-1778

お知りおきください！

【加入方法】申込書を提出（25日迄）→翌月1日から加入

【入院給付金請求可能日】退院翌日から3年

広島県手をつなぐ育成会 互助制度のご案内

(育成会の入院給付金・AIG医療の普通共済保障)

当制度は今年度より「付添看護共済制度」から名称変更しました。「お話しに助け合い、共に生きる」という互助精神を核に準備してまいります。

入院給付 ●付添看護共済 ●25歳未満児用共済 ●入院一時給付金 ●入院医療給付金	介護給付 ●介護共済 ●介護一時給付金 ●介護一時給付金 ●介護一時給付金 ●介護一時給付金
--	--

※詳細は、各支所・事務局
一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会
〒730-0811 広島市安佐北区 清流可部 2-1-1

一般社団法人
広島県手をつなぐ育成会

広島県手をつなぐ育成会

「会報編集委員」の募集

「会報」の発行に協力していただける方を募集します。「会報」は年3回の発行の予定にしております。編集委員の方には、記事の編集やレイアウトなどのお手伝いをしていただきます。年に1〜2回育成会総合福祉センターに集まっておりますが、通常はEメールで電子データのやり取りになります。興味のある方は事務局までご連絡ください。

広島県手をつなぐ育成会の ホームページをご活用ください！

各大会の案内などを随時掲載しています。また、支部のイベント情報なども掲載いたしますのでご活用ください。

広島県手をつなぐ育成会

検索

新しい支部ができました！ よろしくお願いたします。

広島市安佐北区にある社会福祉法人清流可部つちくれの家が施設支部として新しく入会されました。一緒に活動していきましょう。よろしくお願いたします。